

流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	林野庁東北森林管理局 宮城北部森林管理署
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	林業体験 森林ふれあい教室 等
取組の目的	森林の整備・保全への国民参加の推進
実施場所	北上川流域
事業期間	平成26年度～平成30年度
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <p>NPO及び企業にフィールド提供を行って、森林整備活動を実施した。          また、小学生を対象に森林教室を開催し、森林・林業に関する普及啓発活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備活動:栗原市 0.10ha(植付),石巻市 0.58ha(下刈)</li> <li>・森林教室:石巻市立大原小学校</li> </ul>
連携団体等	NPO, 企業及び小学校
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>栗原市栗駒荒砥沢での植樹活動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>石巻市立大原小学校での森林教室</p> </div> </div>	
取組の点検	NPO及び企業による森林整備活動については、順調に更新するよう指導が必要である。また、小学校の森林教室については、実施メニューの見直しや工夫を行う必要がある。
今後の取組目標	フィールドの提供及び林業体験等を通じ、県民が森林とふれあう機会の中で、森林・林業についてより理解を得られるよう、事業を継続させる。

報告団体等

林野庁東北森林管理局 宮城北部森林管理署

# 流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	野蒜築港ファンクラブ	
対象流域	北上川流域・ <b>鳴瀬川流域</b> ・名取川流域	
取組分類	清らかな流れ・ <b>豊かな流れ</b> ・安全な流れ・豊かな生態系	
活動事業名	野蒜築港を通じての「さらなる研究」、「文化の継承」、「遺産の保護」、「町の活性化」	
取組の目的	野蒜築港に関する生涯学習を啓発し、地域資産としての保全活動に努める	
実施場所	野蒜築港跡周辺	
事業期間	2000年2月19日(当会発足日)～	
取組の概要	<p><b>【平成29年度の主な取組】</b></p> <p>定期総会内における(奥松島遊覧船乗船・陸の松島見学等)地域の観光資源調査 ファンクラブ通信発行 野蒜・東名運河フォーラム共催 野蒜・東名運河座会共催 全国運河サミットinみやぎ(宮城県河川課)へ実行委員参加</p>	
連携団体等	東名運河の再生復興を促進する会 「未来につなぐ奥松島のたから」再生活用実行委員会	
取組状況の結果・写真・図表等		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>東名運河</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>奥松島船上遊覧</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>宮野森小学校6年生校外学習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>宮野森小学校6年生校外学習 新鳴瀬川「上の橋」橋台付近</p> </div> </div>		
取組の点検	「未来につなぐ奥松島のたから」再生活用実行委員会主催のイベントに共催し、震災後の地域資産活用を考えることができた	
今後の取組目標	高台造成地 野蒜ヶ丘への住民移転に伴う地域の賑わい再生の中で、運河や野蒜海岸などの地域資産を共に見つめ直していきたい	

報告団体等

野蒜築港ファンクラブ



# 流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	特定非営利活動法人 宮城県河川環境研究会	
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域	
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系	
活動事業名	身近な水環境全国一斉調査他	
取組の目的	水質調査を通してマップ作成へ情報提供等	
実施場所	吉田川上流～下流域	
事業期間	平成29年5月～平成30年3月	
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】(上記事業の他)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 松島第二小学校の生徒を対象に総合学習支援を行った(田中川の生き物調査等を行った)</li> <li>2. 長沼ダム施設視察を行った。(ダム施設と水質環境状況を視察)</li> <li>3. 鳴瀬吉田川水系鳴瀬川の源流探訪を行った。(漆沢ダム上流域を視察)</li> <li>4. これ以外として、河川工作物(魚道)に関する技術指導等を行った。</li> </ol>	
連携団体等	宮城県(河川課・環境対策課), 北部・仙台土木事務所, 松島町, 漁協, 民間企業ほか	
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>対象者; 小学校, 漁協, 研究会会員</p> <p>参加数; 延べ125名</p>		
  		
吉田川河川環境調査(綱木橋)	野外生き物調査(松島第二小学校)	水質・COD分析(松島第二小学校)
  		
長沼ダム施設視察(栗原市)	鳴瀬川源流探訪(加美町)	研修会(仙台市)
取組の点検	総合学習を通し、自然環境保全等に関する意識啓蒙が図られた。 河川環境調査等により参加者の意識の向上が図られた。	
今後の取組目標	今後とも、県内各河川環境状況調査等を継続的に行うとともに、研修会等を通し、生態系保全に努めたい。	

報告団体等

NPO法人 宮城県河川環境研究会

流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	作並かつば祭り実行委員会
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <span style="border: 1px solid black;">名取川流域(+広瀬川)</span>
取組分類	清らかな流れ・ <span style="border: 1px solid black;">豊かな流れ</span> ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	作並かつば祭り(親水イベント)
取組の目的	広瀬川上流域の魅力を活かした水に親しめるイベントを開催し、子どもたちに川の魅力と危険性を伝え、河川環境に対する関心の高揚を図る。
実施場所	広瀬川支流 新川
事業期間	平成29年7月22日(土)10時～15時
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <p>1)川遊び(インストラクター付添の川遊び), 2)ニジマスつかみ取り(生簀でのつかみ取り, 焼き魚の提供), 3)スイカ割り 4)石ころアート 5)幼児用プール, 6)模擬店 など</p>
連携団体等	実行委員会に加入している地元企業, 団体, および, 宮城県, 仙台市など
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>参加者数: 381人(会場内の安全確保のため, 定員を300人程度として人数制限を実施)</p> <p>協働団体数: 29団体</p>	
<p>川遊び</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>川遊び</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ニジマスつかみ取り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>幼児用プール</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>石ころアート</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>スイカ割り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>幼児用プール</p> </div> </div>	
取組の点検	申込にフォームを採用することで, 申込者の必要事項記入漏れを防ぐことができた。費用・安全管理面では, 委託費の削減等により, 昨年同様の送迎バスの費用や参加者の安全確保に必要なスタッフ人数の確保することができた。
今後の取組目標	引続き申込フォームを用いた事前申込制により, 来場者の安全性が十分に確保できる範囲での実施とし, 地元に着定したイベントとして継続的な仕組みづくりを検討していく。

報告団体等

仙台市



流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	広瀬川で遊ぼう実行委員会	
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域(+広瀬川)	
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系	
活動事業名	広瀬川で遊ぼう(親水イベント)	
取組の目的	広瀬川下流域の魅力を活かした水に親しめるイベントを開催し、河川環境に対する関心の高揚を図ります。	
実施場所	広瀬川宮沢緑地	
事業期間	平成29年5月3日～5日 10時～15時	
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <p>市民・企業・行政が協働により策定した「広瀬川創生プラン」において、重点事業として位置づけられている事業                  手漕ぎボート、Eボート、ペットボトルロケット作り、鯉のぼり、フリーマーケット、屋台、石ころアート、シャボン玉、ダンボールで遊ぼう、ハンドメイド市、乗馬体験、パネル展示(県・国・市)など</p>	
連携団体等	NPO法人広瀬川ボートくらぶ、地元町内会、広瀬川市民会議、国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所、宮城県、仙台市など	
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>参加者数：8,500人／3日間(5/3:3,400人, 5/4:2,200人, 5/5:2,900人)                  協働団体数：18団体</p>		
<p>会場の様子</p> 		
<p>手漕ぎボート</p> 		
<p>Eボート</p> 		
<p>ペットボトルロケット作り</p> 		
<p>ダンボールで遊ぼう</p> 		
<p>石ころアート</p> 		
取組の点検	<p>昨年度に引き続き、地元で活動するNPO法人「広瀬川ボートくらぶ」が、実行委員会の事務局を務め、多くの広瀬川宮沢緑地周辺で活動するNPOや、企業、商店街、町内会等の協働により開催できました。市民の方からの認知度も上がり、地域に根付いたイベントとなっている。</p>	
今後の取組目標	<p>今年度のしゅきを継続し、地元企業・町内会などを中心とした実行委員会による、地域に根付いたイベントとして継続していく。</p>	

報告団体等

広瀬川で遊ぼう実行委員会

流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	林野庁東北森林管理局 宮城北部森林管理署
対象流域	北上川流域、鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	森林環境保全整備事業等
取組の目的	国有林野施業実施計画に基づく機能類型、施業群等に応じた生物多様性の保全、地球温暖化防止対策の推進及び保安林の適正な整備による水源かん養機能の維持増進
実施場所	大崎市、栗原市、登米市、石巻市内の国有林
事業期間	平成26年度～平成30年度
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造林木の生育を阻害している侵入木や形質不良木の除去をするための「除伐」、「除伐2類」や林分密度の調整により、競争を緩和し林分を適正に維持するとともに、残存木の成長促進を図るための「本数調整伐」、「保育間伐」を実施した。</li> </ul> <p>実施面積:211ha</p>
連携団体等	なし
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>〔実施例〕 除伐2類による森林整備</p> 	
取組の点検	生物多様性の保全、地球温暖化防止対策及び保安林の適正な森林整備を目的として計画的に事業を実行している。
今後の取組目標	平成30年度の森林保全整備事業等は、約200haの実施計画となっている。

報告団体等

林野庁東北森林管理局 宮城北部森林管理署

流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	林野庁東北森林管理局 宮城北部森林管理署
対象流域	北上川流域・ <u>鳴瀬川流域</u> ・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・ <u>豊かな流れ</u> ・安全な流れ・ <u>豊かな生態系</u>
活動事業名	森林環境保全整備事業等
取組の目的	国有林野施業実施計画に基づく機能類型、施業群等に応じた生物多様性の保全、地球温暖化防止対策の推進及び保安林の適正な整備による水源かん養機能の維持増進
実施場所	加美町, 色麻町, 大和町内の国有林
事業期間	平成26年度～平成30年度
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <p>・造林木の生育を阻害している侵入木や形質不良木の除去をするための「除伐」, 「除伐2類」や林分密度の調整により, 競争を緩和し林分を適正に維持するとともに, 残存木の成長促進を図るための「本数調整伐」, 「保育間伐」を実施した。 実施面積:58ha</p>
連携団体等	なし
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>〔実施例〕 本数調整伐による森林整備</p> 	
取組の点検	生物多様性の保全, 地球温暖化防止対策及び保安林の適正な森林整備を目的として計画的に事業を実行している。
今後の取組目標	平成30年度の森林保全整備事業等は, 約80haの実施計画となっている。

報告団体等

林野庁東北森林管理局 宮城北部森林管理署



# 流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	国土交通省東北地方整備局 北上川下流河川事務所
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	出前講座
取組の目的	洪水の歴史や水害への備え、河川を通じた地域の環境について、地域住民の方に理解を深めていただく。
実施場所	北上川水系、鳴瀬川水系内の小中学校、高校、町内会など
事業期間	平成29年6月～平成30年3月
取組の概要	【平成29年度の主な取組】 小中学校、高校、町内会等へ、河川を通じた環境学習、防災学習などの講座を実施した。
連携団体等	

## 取組状況の結果・写真・図表等

石巻市開北小学校



仙台二華高校



石巻市釜小学校



大和町落合地区地域振興協議会



取組の点検	河川を通じた環境学習、防災学習として小中学校、高校、町内会等に根付いており、平成29年度は22件の出前講座を実施した。
今後の取組目標	今後も多種多様な学習ができるメニューを計画し、活動を継続していく。

報告団体等

国土交通省東北地方整備局



## 流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">名取川流域</span>
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">安全な流れ</span> ・豊かな生態系
活動事業名	出前講座
取組の目的	洪水の歴史や水害への備えについて、地域住民の方に理解を深めていただく。
実施場所	八本松市民センター，八本松地区町内会
事業期間	平成29年7月
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <p>町内会や学校で、名取川流域の洪水の歴史や水害への備えについての講座を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月8日 八本松市民センター</li> <li>・7月9日 八本松地区町内会</li> </ul>
連携団体等	
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>八本松市民センター</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>八本松町内会</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	
取組の点検	「近年の異常気象により全国的に災害が発生する中で、地形の特徴や水害への備えを学んだことは大変有意義でした。」などの感想が寄せられ、総合学習を通し防災意識の向上が図られた。
今後の取組目標	今後も多種多様な学習ができるメニューを計画し、活動を継続していく。

報告団体等

国土交通省東北地方整備局

団体名称	国土交通省東北地方整備局 北上川下流河川事務所
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	北上川水系水辺現地調査(底生動物)
取組の目的	北上川水系における底生動物の生息状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。
実施場所	北上川水系直轄管理区間
事業期間	平成29年4月～平成30年3月
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>底生動物の生息状況の経年変化を確認し、工事や災害による影響等を把握する。</li> <li>底生動物の分布状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。</li> <li>重要種の分布状況等を把握し、河川管理上の基礎資料とする。</li> </ul>
連携団体等	

取組状況の結果・写真・図表等

- 底生動物の確認種数 7門11綱32目101科232種
- 今回調査の確認種は前回より減少
- 16種の重要種を確認(うち4種を新たに確認)
- 10種の外来種を確認(うち2種を新たに確認)

調査実施状況(タモ網)



主な重要種

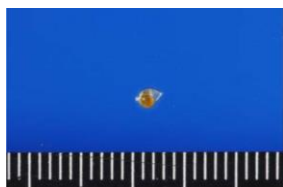


フネドブガイ

確認された外来種

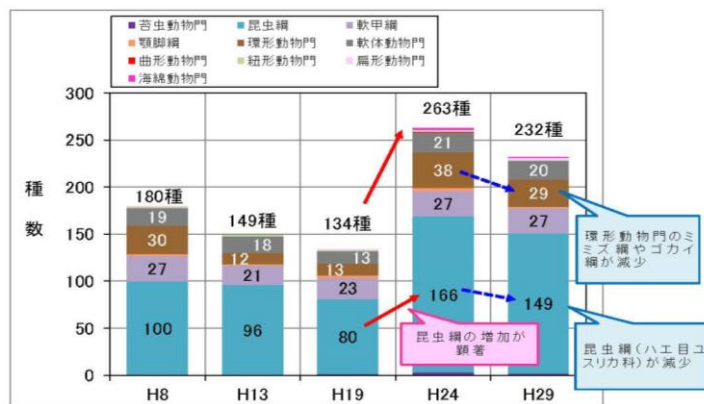


アメリカナミウズムシ



Menetus属

<確認種数の経年変化>



アカテガニ



ヨコミズドロムシ

取組の点検	生物の生息・生育環境等に関するデータは、河川の整備・管理に必要な基礎的情報である。
今後の取組目標	良好な河川空間の整備・保全に資するべく、今後も管理河川を対象に、河川環境の基礎的な状況を定期的、継続的、統一的な手法で調査を実施する。



# 流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	環境省東北地方環境事務所
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	平成29年度伊豆沼・内沼ブルーギル等防除業務
取組の目的	ブルーギルの有効な防除技術を確立するため、分布域及び生息環境を把握し、低密度下での効率的な防除を行うための基礎資料の作成と、ブルーギル等の繁殖抑制のための駆除を行う。
実施場所	伊豆沼・内沼地内(宮城県栗原市及び登米市)
事業期間	平成29年6月9日～平成30年1月15日
取組の概要	【平成29年度の主な取組】 電気ショックボート、定置網を使用して、伊豆沼の湖岸水域及び沖合水域で、ブルーギル、オオクチバスの捕獲を行い、捕獲場所の位置情報から生息分布図を作成するとともに、生息環境の把握を行った。また、アイ籠30個を設置し、ブルーギル等の捕獲を行うとともに、罠を使ったブルーギルの捕獲の検証も併せて行った。
連携団体等	公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団(請負事業)

取組状況の結果・写真・図表等



湖岸水際の電気ショックボート実施の様子



定置網の設置風景



アイ籠の設置風景

手法別のブルーギル捕獲数

	電気ショッカー	定置網	アイ籠
繁殖期(5月～7月)	50	-	235
非繁殖期(11月～12月)	-	479	-
合計	50	479	235

各捕獲手法別の特徴

	定置網	アイ籠	電気ショックボート
使用時期	10月-11月	5月-7月	5月-7月
捕獲されるブルーギルの体長有効範囲	20 mm前後 点的	60 mm以上 点的	40-50 mm前後 線的

取組の点検

各捕獲手法の特徴を見ると、繁殖期はアイ籠と電気ショックボート、非繁殖期は定置網で捕獲数が多い。定置網は体長20mm前後の当歳魚、アイ籠は体長60mm以上の成魚、電気ショックボートは体長40-50mm前後の当歳魚から1歳魚を多く捕獲した。

今後の取組目標

各捕獲手法ごとに有効な使用時期、捕獲できるブルーギルの大きさ、捕獲範囲が重ならず、安定した捕獲数が得られることから、これらを効率的に組み合わせた繁殖抑制技術の開発や向上、繁殖抑制による生態系への影響の低減を目標とする。

報告団体等 環境省東北地方環境事務所

## 流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	特定非営利活動法人 蕪栗ぬまっこくらぶ
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	蕪栗沼探検隊 自然観察会 動植物モニタリング調査
取組の目的	北上川水系迫川水系旧迫川水系小山田川に位置する蕪栗沼遊水地と、ラムサール条約湿地蕪栗沼・周辺水田の自然環境や生態系、遊水地事業、災害防止機能などを普及啓発するため。
実施場所	蕪栗沼・周辺水田
事業期間	平成29年5月～平成29年12月
取組の概要	【平成29年度の主な取組】 毎月2回、マガンをはじめとする渡り鳥のカウント調査を行った。魚や貝、植物、昆虫など動植物のモニタリング調査、水質調査を行う。渡り鳥や魚、植物、昆虫などのテーマを決めて観察会を実施。生き物観察に必要な教材を作成して配布。清掃活動や除草作業を並行して実施。
連携団体等	大崎市、市内の6市民団体
取組状況の結果・写真・図表等	
  	
取組の点検	調査の結果や活動の内容を会報やSNSで広報した。
今後の取組目標	活動拠点となる施設の設置や、主催に協力してくれる人を増やしたい。

報告団体等

NPO法人 蕪栗ぬまっこくらぶ



流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分




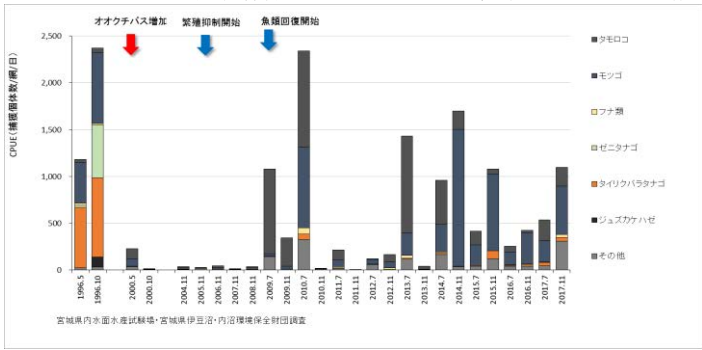
団体名称	ナマズのがっこう	
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域	
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系	
活動事業名	伊豆沼・内沼上流域のため池のオオクチバス駆除	
取組の目的	在来の生態系の復元	
実施場所	栗原市築館高森 高森(NO39)ため池, 高森(NO40)ため池	
事業期間	平成30年3月20日, 平成30年3月31日	
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <p>高森(NO39)ため池と高森(NO40)ため池でオオクチバスの生息を確認したので池干しによるオオクチバス駆除を実施して, 高森(NO39)ため池で58尾, 高森(NO40)ため池で175尾合計233尾のオオクチバスを駆除した。</p>	
連携団体等	伊豆沼・内沼ドジョウ・ナマズ研究会, 伊豆沼・内沼環境保全財団, ノーバスネット	
取組状況の結果・写真・図表等		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>高森(NO39)ため池駆除作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>高森(NO40)ため池駆除作業</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>高森(NO39)ため池駆除作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>高森(NO40)ため池駆除したオオクチバス</p> </div> </div>		
取組の点検	伊豆沼・内沼上流域で, ため池のオオクチバス駆除を実施しているがいまだに再放流されているため池がある。	
今後の取組目標	伊豆沼・内沼上流域の大規模ため池37ヶ所にオオクチバスが生息していたが平成29年度末までに33ヶ所駆除した。うち2ヶ所に再放流され, 今後6ヶ所の駆除を行う。	

報告団体等

ナマズのがっこう

# 流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	宮城県自然保護課
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	伊豆沼・内沼自然再生事業
取組の目的	水鳥飛来種の減少、外来魚による被害等があることから、自然再生推進法に基づく自然再生事業を実施し、多様な生物が生息・生育する淡水湖沼の生態系の再生を目指すもの。
実施場所	登米市及び栗原市内の伊豆沼・内沼流域
事業期間	平成22年度～
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <p>(1) 伊豆沼・内沼自然再生協議会の開催</p> <p>(2) 自然再生事業の実施</p> <p>① 水生植物保全整備(埋土種子発芽試験, クロモ・ジュンサイ等の沼内移植 等)</p> <p>② 湖岸植生保全整備(ヨシ・ハス刈り取り及びモニタリング 等)</p> <p>③ 在来生物増加促進対策(カラスガイの増殖・系統保存 等)</p> <p>④ 外来生物対策(電気ショッカーボート等による外来魚の駆除 等)</p> <p>⑤ 水質改善効果検討調査</p>
連携団体等	公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団(上記(2)①から④の委託先), 国際航業(株)仙台支店(上記(2)⑤の委託先)
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>クロモの沼内植栽作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>飼育中のカラスガイの稚貝</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>電気ショッカーボートによる外来魚駆除作業</p> </div> </div>	
 <p style="text-align: center;">左図 在来生物増加促進対策及び外来生物対策の実施により、定置網による在来魚類の捕獲数が増加してきたもの</p>	
取組の点検	新技術の開発・実験等により、クロモの増殖・移植など、一部の取組では効果的な手法が確立され、特に外来魚駆除では大きな効果が現れている。
今後の取組目標	引き続き効果的な手法を検討していくとともに、これまでの実験等により効果的な手法が確立されたものについては、実施・検証を行いながら、段階的に規模を拡大していく。

報告団体等

宮城県自然保護課



流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	広瀨ふるさと保全会(多面的機能支払交付金取組組織)
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	田んぼの学校(営農体験, 生きもの調査)
取組の目的	農地や農地周辺に生息する生物の調査及び営農体験を通じた農村環境の学習
実施場所	石巻市
事業期間	平成29年8月18日, 10月17日
取組の概要	<p><b>【平成29年度の主な取組】</b>                  (石巻市広瀨地区の例)                  農地周りの環境に対する関心や, 農業農村の持つ多面的機能への理解を深めてもらうため, 田んぼの水質や生態系の調査及び営農体験(田植え, 稲刈り)を実施。                  ※旧北上川流域の他4地区(石巻市前谷地地区, 石巻市北上地区, 石巻市北村地区, 石巻市中津山地区)においても同様の取組を実施した。</p>
連携団体等	教育機関(小学校), 多面的機能支払活動組織, 土地改良区, 市, 県
取組状況の結果・写真・図表等	
  	
<p>水質調査の様子(H29.8.18)</p> <p>生きもの調査の様子(H29.8.18)</p>	
  	
<p>稲刈り体験の様子(H29.10.17)</p> <p>記念撮影</p>	
取組の点検	管内各地域において, 田んぼの生きもの調査や水質調査が実施されている。
今後の取組目標	今後とも, 地元の小学校や多面的機能支払活動組織と協働して取組を行う。また, 農業・農村の持つ多面的機能について周知をはかる。

報告団体等

宮城県東部地方振興事務所

# 流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	下川敷地区環境保全活動組織(多面的機能支払交付金取組組織)	
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域	
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系	
活動事業名	メダカの生態系保全活動(メダカの放流・捕獲)	
取組の目的	多面的機能支払交付金を活用した生態系保全及び学校教育との連携	
実施場所	栗原市志波姫伊豆野大江北地内	
事業期間	平成29年5月～8月	
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <p>かつて当該地域に多数生息していたメダカの復活を目指して実施されたのがはじまり。平成19年度に活動組織を設立して以降は、環境保全活動の普及・啓発の一環として、毎年地元の栗原市立志波姫小学校の4年生を対象にメダカの学習会(メダカを水田に放流・捕獲する)を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メダカの放流:平成29年5月23日</li> <li>メダカの捕獲:平成29年8月25日(例年より一ヶ月遅らせて開催)</li> </ul>	
連携団体等	栗原市立志波姫小学校	
取組状況の結果・写真・図表等	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>H29.8月 メダカ捕獲前座学</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>H29.8月 メダカ捕獲</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>H29.8月 メダカ捕獲</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>H29.8月 捕獲されたメダカ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>栗原・めだかつこ米 商標登録</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 200px;"> <p>メダカを放流した水田には、メダカの養分となる微生物の増加と水質の浄化を促すEM菌が散布されている。</p> <p>当該農地で収穫された米は、メダカが元気に泳ぐ安心・安全で栄養豊富な環境で栽培されたものであることから、地域の独自ブランド「めだかつこ米」として地元のJAで販売されている。</p> </div> </div>	
取組の点検	メダカの養殖・放流期間中は、構成員が定期的にメダカの生育状況を確認し、メダカを絶やさないようにしている。	
今後の取組目標	今後もメダカの保全を含む環境保全活動を継続し、豊かな農村環境を次の世代へ繋げていく。	

報告団体等

宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所



流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	「田んぼの学校」(生きもの調査・水質調査)
取組の目的	農業・農村が持つ役割について、次世代を担う子供たちに理解を深めてもらうとともに、自分たちの住んでいる農村の多様な環境を理解してもらうことを目的とする。
実施場所	宮城県登米市南方町堀切地内
事業期間	平成29年6月28日
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田んぼの役割について学習</li> <li>・田んぼの周辺や水路に生息する生きものを調査(捕獲, 同定作業)。</li> <li>・用水の水質調査実施</li> </ul>
連携団体等	登米市立東郷小学校, 迫川沿岸土地改良区, 裏大岳ふる里守り隊
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>田んぼの役割について学習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生き物調査の様子</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	
取組の点検	作業時間が不足したことから、同定作業を途中で打ち切ることになった。時間配分に注意が必要と感じた。
今後の取組目標	今後も地元小学校や地域住民と協働して取組, 参加した子供たちに豊かな生態系の大切さを実感してもらう。

報告団体等

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所



## 流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	津山農地水環境保全隊
対象流域	北上川流域、鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	生き物調査
取組の目的	保全隊の農村環境保全活動の一環であり、生き物調査を通じて地域住民との交流を図りつつ、自然環境について学び、ひいては子供の健全育成を図ることを目的とする。
実施場所	宮城県登米市南方町堀切地内
事業期間	平成29年7月11日
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田んぼの周辺や水路に生息する生き物を確認</li> <li>・カエルやドジョウ等の特徴や見分け方について学習</li> </ul>
連携団体等	登米市立横山小学校, JA南三陸, 丹野測量設計, なまずの学校, 登米市教育委員会, 登米地域事務所
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>生き物調査の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生き物の見分け方について学習</p> </div> </div>	
取組の点検	捕獲した生き物のうち、外来種であるアメリカザリガニについては、在来種保護のため、子供たちが帰った後に駆除した。
今後の取組目標	今後も地元小学校や地域住民と協働して取組、参加した子供たちに豊かな生態系の大切さを実感してもらおう。

報告団体等

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所

流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	林野庁東北森林管理局 宮城北部森林管理署
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	東日本大震災からの復興と森林の再生
取組の目的	海岸防災林の再生に向けた国民参加の推進
実施場所	鳴瀬川流域
事業期間	平成27年度～平成37年度
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <p>東日本大震災により被災した東松島市の海岸防災林の再生に向けて、植生基盤造成後、その一部を民間団体等と協定を締結し、国民参加による森林づくりを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度「社会貢献の森」協定締結 東松島市 7団体 1.16ha</li> </ul>
連携団体等	
取組状況の結果・写真・図表等	
	
協定による海岸防災林再生に向けた植樹活動	
取組の点検	海岸防災林の再生に向け、平成26年度から延べ26団体と協定を締結し、計10haの植栽を行ったが、成林するまで保育活動を続けられるよう、きめ細かな管理が必要である。
今後の取組目標	協定締結した団体と連絡を密にして保育活動を実施するとともに、成林するまでの間、協定の更新を行い、県民が震災復興への参加と森林とふれあう機会を多く得られるようにする。

報告団体等

林野庁東北森林管理局宮城北部森林管理署

団体名称	国土交通省東北地方整備局 北上川下流河川事務所
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	鳴瀬川水系水辺現地調査(陸上昆虫類)
取組の目的	北上川水系における陸上昆虫類等の生息状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。
実施場所	鳴瀬川水系直轄管理区間
事業期間	平成29年4月～平成30年3月
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上昆虫類の生息状況の経年変化を確認し、工事や災害による影響等を把握する。</li> <li>陸上昆虫類の分布状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。</li> <li>重要種の分布状況等を把握し、河川管理上の基礎資料とする。</li> </ul>
連携団体等	

取組状況の結果・写真・図表等

- 陸上昆虫類の確認種数 2網16目258科1437種
- 今回調査の確認種は過年度と比較し最も種数が多い
- 24種の重要種を確認(うち10種を新たに確認)
- 16種の外来種を確認(うち8種を新たに確認)

調査実施状況(ライトトラップ法)



確認された重要種



キスジウスキヨトウ

確認された外来種

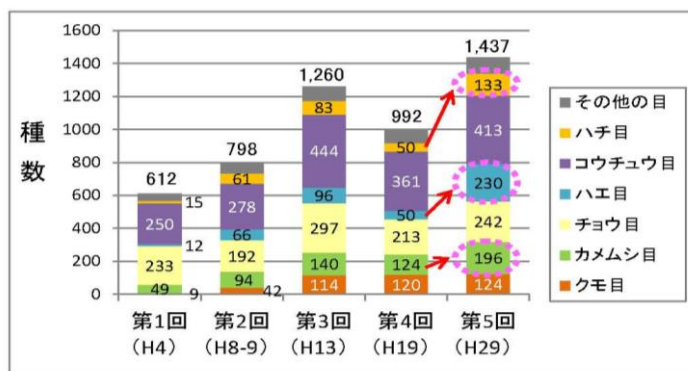


オナジショウジョウバエ



イタチハギマメゾウムシ

<確認種数の経年変化>



キバナガミズギワゴムシ



キアシマエダテバチ

取組の点検	生物の生息・生育環境等に関するデータは、河川の整備・管理に必要な基礎的情報である。
今後の取組目標	良好な河川空間の整備・保全に資するべく、今後も管理河川を対象に、河川環境の基礎的な状況を定期的、継続的、統一的な手法で調査を実施する。



団体名称	特定非営利活動法人 シナイモツゴ郷の会
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	水源のため池と小川の豊かな自然を守る地域ぐるみの取り組み
取組の目的	流域の豊かな自然を地域ぐるみで守り次世代に継承する。
実施場所	広長川及び水源ため池ほか 大崎市 鹿島台地区
事業期間	平成29年4月～平成30年3月
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シナイモツゴ及びゼニタナゴ生息池の増大と保全</li> <li>・外来種(ブラックバス・アメリカザリガニ)の防除</li> <li>・シナイモツゴの里親活動・小川の魚類調査</li> <li>・ため池を守る農業者の支援(シナイモツゴ郷の米認証)</li> <li>・シンポジウムの開催</li> </ul>
連携団体等	大崎市, 東北大学, 全国ブラックバス防除市民ネットワーク, 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団, 鹿島台小学校, 鳴瀬桜華小学校, 小牛田小学校, 石巻開北小学校

取組状況の結果・写真・図表等



千葉県のパオトープにアメリカザリガニ連続捕獲装置を設置  
(組み立て後の説明状況)



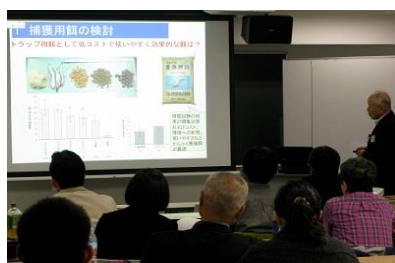
鹿島台小学校における里親活動  
(シナイモツゴの発目卵のついたボットを飼育池に設置)



シナイモツゴ生息池の増大活動  
(鹿島台小4年生及び地域住民によるシナイモツゴの放流会)



大崎市鹿島台志田谷地地区で実施した小川の魚類調査  
(魚類捕獲後の展示、解説状況)



シンポジウム開催  
(平成29年10月に東京で開催したシンポジウム状況)



ゼニタナゴの産卵状況調査  
(二枚貝に産み付けた卵の調査状況)

取組の点検	池干しによるブラックバス駆除を実施したため池に、毎年、シナイモツゴやゼニタナゴを遺伝的多様性などに配慮した移植放流により、生息池の増大を図った。また、ため池から流下する小川のブラックバス駆除も併せて実施してきた結果、小川にもシナイモツゴやゼニタナゴが見られるようになった。
今後の取組目標	遺伝的多様性などに配慮した移植放流により、シナイモツゴやゼニタナゴ生息池の増大を図る。また、ため池の生態系を保全するため、連続捕獲装置でアメリカザリガニを駆除し、アメリカザリガニの低密度管理に努める。さらには、連続捕獲装置を、全国への提供を図る。

## 流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	加美郡色麻町立色麻小学校(色麻町農業委員会・色麻土地改良区共催)
対象流域	北上川流域・ <u>鳴瀬川流域</u> ・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ <u>豊かな生態系</u>
活動事業名	色麻小学校学習田「田植え・稲刈り」
取組の目的	田植え、稲刈り体験を通して農業農村の多面的機能(生物多様性保全機能)の大切さを伝えるもの。
実施場所	加美郡色麻町一の関地内
事業期間	平成29年5月17日(田植え),平成29年10月18日(稲刈り)
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <p>田植え、稲刈り作業の体験や田んぼの生き物調査を通じて、農業農村の多面的機能の大切さを学ぶために開催されたもの。</p> <p>対象:加美郡色麻町立色麻小学校5年生</p>
連携団体等	宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部,加美郡色麻町立色麻小学校,色麻土地改良区,色麻町農業委員会,色麻町公民館,農業生産法人あぐりカッパ
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>田植えの様子①</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>稲刈りの様子①</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生き物調査の様子①</p> </div> </div>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>田植えの様子②</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>稲刈りの様子②</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生き物調査の様子②</p> </div> </div>	
取組の点検	田植え、稲刈り体験を通じ、農地の多面的機能の大切さと田んぼに生息する生きものの調査を行った。
今後の取組目標	今後も、地元小学校や連携団体等と協働で取り組みを継続し、農業農村の多面的機能の大切さを周知していく。

報告団体等

宮城県北部地方振興事務所

団体名称	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <b>名取川流域</b>
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ <b>豊かな生態系</b>
活動事業名	名取川水系水辺現地調査(魚類)
取組の目的	名取川水系における魚類の生息状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。
実施場所	名取川水系直轄管理区間
事業期間	平成29年4月～平成30年3月
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魚類の生息状況の経年変化を確認し、工事や災害による影響等を把握する。</li> <li>魚類の分布状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。</li> <li>重要種の分布状況等を把握し、河川管理上の基礎資料とする。</li> </ul>
連携団体等	

取組状況の結果・写真・図表等

- 魚類の確認種数 11目25科52種
- 今回調査の確認種は前回より多い
- 8種の重要種を確認(うち2種を新たに確認)
- 2種の外来種を確認(うち1種を新たに確認)

調査実施状況(投網)



主な重要種



ニホンウナギ

確認された外来種



オオクチバス



コクチバス

<確認種数の経年変化>



ヘビハゼ




アベハゼ

取組の点検	生物の生息・生育環境等に関するデータは、河川の整備・管理に必要な基礎的情報である。
今後の取組目標	良好な河川空間の整備・保全に資するべく、今後も管理河川を対象に、河川環境の基礎的な状況を定期的、継続的、統一的な手法で調査を実施する。



流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	林野庁東北森林管理局 仙台森林管理署
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <b>名取川流域</b>
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ <b>豊かな生態系</b>
活動事業名	協定締結による国民参加の森林づくり
取組の目的	多様な森林整備や保全活動の要請に対応した国民参加の森林づくりの推進
実施場所	名取川流域(仙台市青葉区・太白区)
事業期間	平成28年度～平成32年度
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <p>地域住民の方々が自主的に行う森林整備活動を推進するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民参加の森林として設定する「ふれあいの森」－ 2団体</li> <li>・国有林野を活用した体験活動等を実施する「遊々の森」－ 6団体</li> </ul> <p>と協定を締結(協定面積:530ha)し、それぞれの団体において、下草刈り、枝打などの森林整備活動や多様な森林体験・自然観察等の取組みが行われた。</p>
連携団体等	民間団体
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p style="text-align: center;">＜ 協定団体等による森林整備活動の様子 ＞</p>  <p style="text-align: right;">【中学生による体験林業】</p>	
取組の点検	地域住民等により自主的な森林整備・保全活動等が実施されている。
今後の取組目標	今後も引き続き、ボランティア団体等が行う自主的な森林整備や保全活動についての要請に対応したフィールドの提供及び協定の締結等、多様な取組みに努める。

報告団体等 林野庁東北森林管理局仙台森林管理署

# 流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	特定非営利活動法人 名取ハマボウフウの会
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <b>名取川流域</b>
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ <b>豊かな生態系</b>
活動事業名	名取の海岸再生を目指す「海岸のお花畑づくり」事業
取組の目的	東日本大震災で生き残った海浜植物を甦らせ、壊滅的被害を受けた名取の海岸環境を回復し、次世代へ継承していくこと
実施場所	名取市閑上海岸
事業期間	平成29年4月～平成30年3月
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第23回広瀬川流域1万人プロジェクト:閑上会場担当団体として海岸清掃活動(4・22)</li> <li>・ふるさと閑上海岸自然観察会8・11)</li> <li>・高校生夏のボランティア体験受入(8・5～6)</li> <li>・第3回石狩中&amp;閑上中海岸植栽交流会 in 名取(8・25～26)</li> <li>・第24回広瀬川流域1万人プロジェクト(9・23):閑上海岸清掃</li> </ul>
連携団体等	認定NPO法人杜の伝言板ゆるる, 広瀬川1万人プロジェクト実行委員会, 名取市
取組状況の結果・写真・図表等	
  	
<p>春季広瀬川1万人プロジェクト      高校生夏のボランティア      石狩中&amp;閑上中植栽交流会</p>	
  	
<p>石狩中&amp;閑上中植栽交流会      秋季広瀬川1万人プロジェクト      台風21号後の海岸</p>	
取組の点検	年間参加者数907名と過去最高数であったが、昨年9月、今年10月の台風21号により再び海岸保護区は壊滅的被害を受けた。昨年から防潮堤側道は車両進入禁止が続いており海岸での活動は制限された状態にある。
今後の取組目標	車両進入禁止解除までは次年度海岸移植に備え、復興道路造成の為減歩となった栽培畑の再生と苗木育成に力を入れる。海岸は限られた範囲ではあるが海浜植物の群落形成環境を整え海岸環境保全に努力する。

報告団体等

NPO法人 名取ハマボウフウの会

流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	キラキラパーク増田西
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <u>名取川流域</u>
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ <u>豊かな生態系</u>
活動事業名	増田川の良さを知り、きれいで親しみの湧く取組
取組の目的	地域の歴史を知り、よき伝統や文化・地域の宝を次世代に継承する。
実施場所	増田川・増田西地区
事業期間	平成29年4月～12月
取組の概要	<p><b>【平成29年度の主な取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○増田川のゴミ清掃活動 4回</li> <li>○増田川フォーラム</li> <li>○増田川で遊ぼう！ガサガサ体験</li> <li>○サケの観察会</li> </ul>
連携団体等	
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>○増田川のゴミ清掃活動 タイヤ・自転車・空き缶・ペットボトルなど大量のゴミを回収した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>○増田川フォーラム 増田川に遡上するサケの観察を通じて学んだサケの生態を解説した高橋忠夫さん。ガサガサ体験の講師を務める旗薫さんは増田川に住む魚を専門的に解説した。総勢70名の参加を得、盛会であった。</p> <p>○増田川で遊ぼう！ガサガサ体験</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	
取組の点検	ガサガサ体験は、小雨にも関わらず、97名の参加を得て、子供たちの楽しむ声が響いた。
今後の取組目標	子供たちに川遊びを通じて、川の大切さや、怖さを教える機会にしたい。



報告団体等

キラキラパーク増田西



流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	宮城県水産技術総合センター 内水面水産試験場
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <b>名取川流域</b>
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ <b>豊かな生態系</b>
活動事業名	漁場環境保全推進事業(広瀬川におけるアユの遡上量調査)
取組の目的	天然アユの遡上状況の情報提供および資源管理のための基礎データを得ること
実施場所	広瀬川(名取川との合流点付近・郡山堰下付近・愛宕堰下付近・仙台国際センター付近)
事業期間	平成29年5月, 6月(各月計3回)
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <p>5月, 6月に投網を用いてアユを採捕し, 天然アユの遡上量について調査した。調査結果は速報として, 宮城県のホームページにて公開した。</p>
連携団体等	広瀬名取川漁業協同組合
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>投網によるアユ採捕の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>採捕されたアユ</p> </div> </div>	
取組の点検	例年どおり順調にアユが遡上していると考えられた。
今後の取組目標	長期的な天然アユの遡上量を把握するため, 今後も調査を継続する。

報告団体等

宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場

流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	宮城県自然保護課			
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域			
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系			
活動事業名	みやぎの里山林協働再生支援事業			
取組の目的	企業のCSR活動を主体とした県民参加による里山林整備の促進			
実施場所	利府町, 富谷市ほか県内全域			
事業期間	平成20年度～			
取組の概要	<p>【平成29年度の主な取組】</p> <p>里山林は、幾世代にもわたって自然と共生した農林業が営まれることで形成された、身近で持続可能な生物多様性に富んだ自然空間ですが、近年は手入れが行き届かずに荒れつつある。一方では、環境問題への関心が高まる中、環境に配慮した社会貢献の一環として森林づくりに取り組む企業等が増えている。このため県は、「みやぎの里山林協働再生支援事業」を通して、森林づくり活動を行おうとする企業等と、活動の場を提供できる森林所有者との橋渡し役となって里山林の整備を支援していく。</p>			
連携団体等	森林所有者, 企業及び団体, 特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会等			
取組状況の結果・写真・図表等				
○これまでの事業実施状況(協定締結の状況)				
	実施市町村	件数	面積(ha)	備考
北上川流域	登米市	1	35.65	
鳴瀬川流域	富谷市, 利府町, 大和町	11	14.24	
計		12	49.89	
○企業等による里山林整備活動の実施状況(事例)				
				
	遊歩道の整備		植樹活動	
取組の点検	取組内容の認知拡大と拡充を図る必要がある。			
今後の取組目標	より多くの企業等の参画を促進し、県民参加による森づくりと取組を通じた自然環境教育を推進する。			

報告団体等

宮城県自然保護課

# 流域水循環計画取組状況

平成29年度実施分

団体名称	宮城県自然保護課			
対象流域	(北上川流域)・(鳴瀬川流域)・(名取川流域)			
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ (豊かな生態系)			
活動事業名	百万本植樹事業			
取組の目的	緑豊かな県土と潤いのある生活環境の創造, 県民の緑化活動への積極的な参加促進			
実施場所	石巻市 ほか北上川, 鳴瀬川及び名取川流域一円			
事業期間	平成5年度～			
取組の概要	<b>【平成29年度の主な取組】</b>			
	事業年度	実施市町村	施行箇所数	植栽樹種
	北上川流域	栗原市・登米市	7箇所	ヤエザクラほか
	鳴瀬川流域	大衡村	1箇所	ウリハダカエデほか
	名取川流域	仙台市・川崎町	2箇所	ソメイヨシノほか
計	5	10箇所	699本	
連携団体等	なし			
取組状況の結果・写真・図表等 ○代表事例				
				
植樹活動の状況		植樹活動後の集合写真		
取組の点検	森林の開発や都市化で緑空間は減少しており, 住民からのニーズは高まっている。			
今後の取組目標	県民一人一人が積極的に緑化活動に関わり, より多くのみどり環境が造成されるよう事業の推進を図る。			

報告団体等

宮城県自然保護課